

富田 勤さんのプロフィール 認定No.12

(保津川寄席プロデューサー)

奇数月の第3土曜日に定期開催される、「保津川寄席」というこだわりの素人寄席が亀岡にあります。その仕掛け人が富田さん。彼は2010年5月にそれまで経営に携わっていた会社をきっぱりと辞め、私の主宰する「かめおかまちの元気づくりプロジェクト」の参謀役として力を貸してくれることに。市民のふれあいや、パフォーマンスの場として、その年の11月に立ち上げて以来、来年(2019年)1月には第50回の節目を迎えます。一貫して「玄人はだし」のレベルの高さを追求し、その結果、毎回多くのファンが詰めかけてくださっています。素人寄席でも木戸銭をもらっている以上は、その金額の倍以上の「品質」を担保しないと常連さんにはなってもらえない、が彼の持論。お陰様で、今では市の内外から「出前落語」のオファーも後を絶たない。今回彼を認定した理由は、保津川寄席の地位を確固たるものに育て上げた手腕もさることながら、50年間落語を続けていることです。中学3年生の時に落語研究会に入り当時顧問だったプロの噺家、桂米之助師に稽古をつけてもらったというから、筋金入り。母校の大学の「落研」OBによる、東北支援のチャリティー落語会を開催したり、京都の障害者施設でも落語を教えたりと、地域活動にも余念がない。そんな彼も以前より65歳で「引退」を宣言。「体力の限界」らしい(笑)。来年1月の保津川寄席をもって高座から降りるとのこと。なんとも寂しい限りではありますが、第50回記念公演は、ガレリアかめおかの響ホールで盛大にやりたいと思っております。長い間お疲れ様でした。本当にありがとうございました。感謝、感謝です。また、どこかで、ゆっくりと一献！



2018. 8. 15 松尾 清嗣